

令和3年度を事後評価の対象期間の初年度 とする施策に係るロジックモデル（案）

地 域 経 済 活 性 化	……	1
交 通 安 全	……	2
青少年インターネット環境整備	……	3
子供・若者育成支援	……	4
男 女 共 同 参 画	……	5
科学技術・イノベーション	……	6

施策名「地域経済活性化に関する施策の推進」

解決すべき
問題・課題

地域経済が厳しい状況にある中で、新型コロナウイルス感染拡大の影響もあり、地域の中堅・中小企業の経営が深刻な影響を受けており、地域企業の再生支援の強化や地域経済の活性化に資する支援を推進していくことが必要な状況にあること。

事業の概要

(アクティビティ)

活動実績

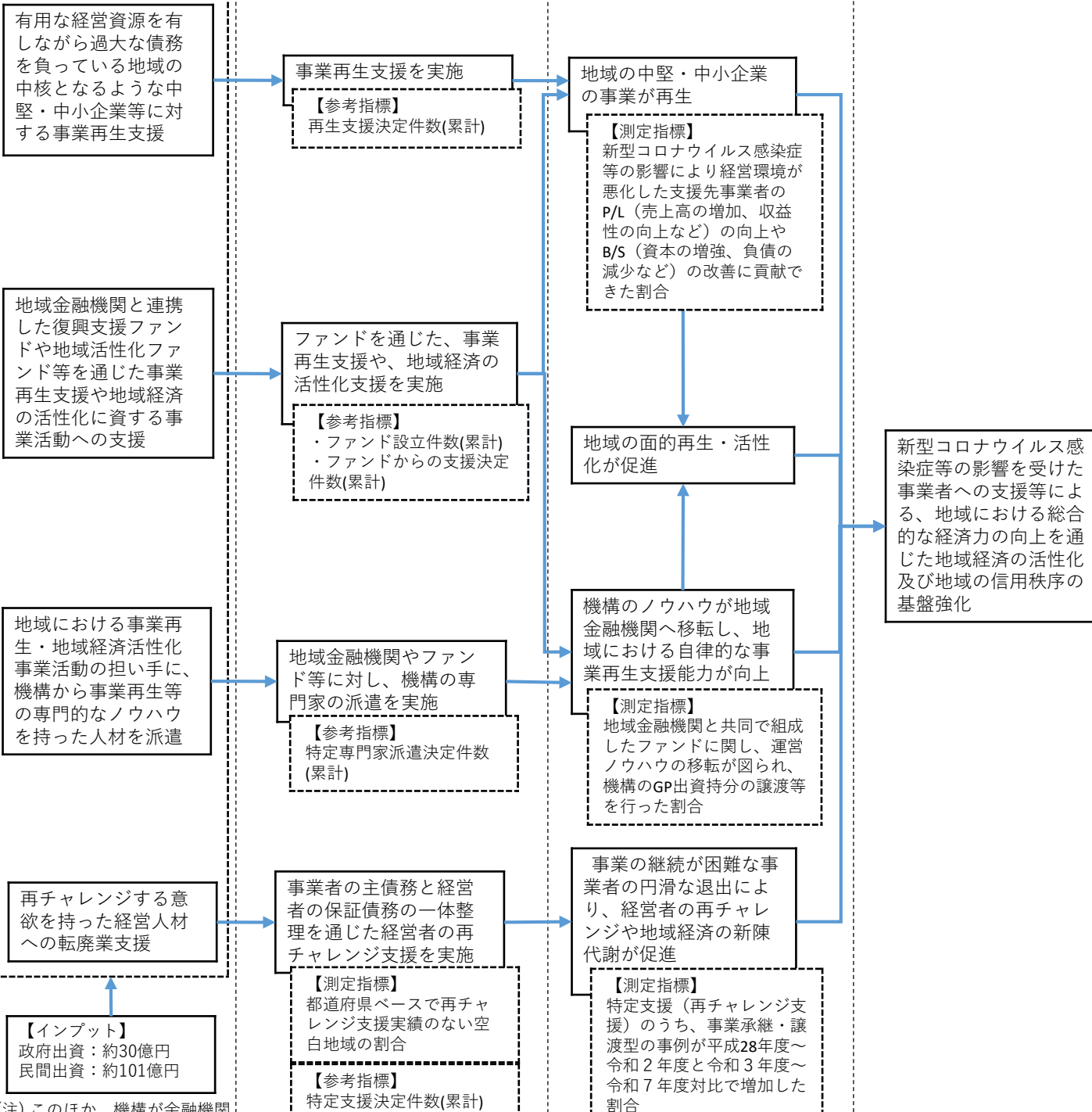
(アウトプット)

中目標

(アウトカム)

施策目標

(インパクト)



(注) このほか、機構が金融機関等から資金調達を行う際の政府保証枠2兆円(令和3年度)が予算措置されている。

政策名「共生社会政策」

施策名「交通安全基本計画の作成・推進」

解決すべき
問題・課題

令和2年中の交通事故死者数（24時間死者数）は過去最少（2,839人）となったが、依然として道路交通事故によって、未就学児を始めとする子供が犠牲となる交通事故や高齢運転者による交通事故が後を絶たない。

事業の概要 (アクティビティ)

春・秋の全国交通安全運動推進事業
【インプット】
予算：8.9百万円

交通安全フォーラムの開催
【インプット】
予算：3.1百万円

地域提案型交通安全支援事業
【インプット】
予算：5.1百万円

交通指導員等交通ボランティア支援事業
【インプット】
予算：23百万円

高齢運転者交通安全推進事業
【インプット】
予算：6.3百万円

活動実績 (アウトプット)

運動の推進要綱を作成するとともにポスター・チラシを作成
【参考指標】
・協賛団体数

学識経験者等の専門家による基調講演、パネルディスカッションを実施
【参考指標】
・実施回数
・参加者数

地方公共団体の提案を受け、当該地域において必要な交通安全に資する事業を実施
【参考指標】
・地方からの提案件数
・実施回数

交通安全指導員を始めとした交通ボランティア等の活動・取組を支援するための講習会を実施
【参考指標】
・実施回数
・参加者数
・交通安全指導者養成講座の受講者に占める30代以下の割合

高齢運転者への指導力を向上させるため、高齢者交通安全指導員（シルバーリーダー）向けの講習会を開催
【参考指標】
・実施回数
・参加者数

中目標 (アウトカム)

道路交通事故の発生を抑止
【参考指標】
・春・秋の全国交通安全運動期間中における24時間死者数・重傷者数

交通安全に対する国民意識が向上し、交通事故を起こさない、交通事故に遭わない行動への変容が起こる
【測定指標】
・春・秋の全国交通安全運動を始めとした施策が、交通安全に対する国民への意識向上に役立っていると思う人の割合
・自動車の運転、自転車の運転や歩行の際に、交通事故を起こさない、交通事故に遭わない行動をとる人の割合

施策目標 (インパクト)

交通事故のない社会を目指す
【測定指標】
第11次交通安全基本計画の道路交通の安全についての目標
・24時間死者数
・重傷者数

※ 交通安全基本計画では道路交通・鉄道交通・海上交通・航空交通に関して講ずべき施策を定めているが、鉄道交通・海上交通・航空交通に関する各種施策の大部分を国土交通省が所管していることから、本ロジックモデルについては道路交通のみの目標としている。

政策名「共生社会政策」

施策名「青少年インターネット環境整備基本計画の作成・推進」

解決すべき
問題・課題

青少年の生活にインターネットの利用は不可欠となっている一方、青少年のインターネット利用に係る様々なトラブルや犯罪被害が社会問題化している。

事業の概要

(アクティビティ)

【教育及び啓発活動】「春のあんしんネット・新学期一斉行動」等の実施。

【教育及び啓発活動】【フィルタリングの利用普及】普及啓発リーフレットの作成・公表

【インプット】
0.01億円

【教育及び啓発活動】【フィルタリングの利用普及】青少年、低年齢層の子供及び保護者を対象とした「青少年のインターネット利用環境実態調査」等の実施

【インプット】
0.4億円

【教育及び啓発活動】【民間団体等の支援】地方におけるフォーラムの開催

【インプット】
0.06億円

活動実績

(アウトプット)

関係府省庁、地方自治体、関係団体等が連携、協力し、啓発活動等を集中的に展開

【参考指標】
参加団体数

都道府県、指定都市等の関係部局へ配布、内閣府のホームページに掲載（内容は毎年度見直し）

【参考指標】
・配布先の数
・配布部数
・ページビュー数

関係省庁、地方公共団体、民間団体等の取組に活用される基礎データを提供するために変化の著しい青少年のインターネット利用環境に係る実態等を把握

地方の行政機関やインターネット関係事業者、関係団体等の連携体制構築のためのフォーラムを実施

【参考指標】
・開催回数
・参加者数
・参加者アンケートの満足度
・ページビュー数

中目標

(アウトカム)

青少年及び保護者のインターネットリテラシーの向上

【測定指標】
フィルタリング認知率

施策目標

(インパクト)

青少年が安全に安心してインターネットを利用できる環境の整備

【参考指標】
フィルタリング利用率

政策名「共生社会政策」

施策名「子供・若者育成支援推進大綱の作成・推進」

解決すべき
問題・課題

情報化、国際化、少子高齢化、新型コロナウイルス感染症の影響など子供・若者を取り巻く環境が大きく変化する中、未来を担う子供・若者が誰ひとり取り残されず、社会の中で安心できる多くの居場所を持ちながら成長・活躍していけるようにすること。

事業の概要

(アクティビティ)

活動実績

(アウトプット)

中目標

(第1段階アウトカム・第2段階アウトカム)

施策目標

(インパクト)

体制整備
教育、福祉、雇用等の分野を通じた支援体制を整備

【インプット】
R3予算：0.5億円

地方公共団体における支援体制の整備支援

【参考指標】
・支援した地方公共団体数
・支援体制の整備数

子供・若者の成長のための社会環境の整備

【参考指標】
「社会全体が一体となって子供・若者の健やかな成長を支える必要があると思う」とする人の割合

全ての子供・若者の健やかな育成

【参考指標】
「今の自分が好きだ」「今の生活が充実している」「自分の将来について明るい希望を持っている」とする子供・若者の割合

広報啓発
子供・若者育成支援を国民運動として展開するため、キャンペーン、調査研究に基づく啓発資料等の作成、功労者の表彰等を実施

【インプット】
R3予算：0.24億円

・子供・若者育成支援強調月間の実施
・啓発資料等の作成
・内閣総理大臣等表彰の実施

【参考指標】
・強調月間の認知度
・内閣府青少年担当HPのPV数
・表彰件数

子供・若者の成長を支える担い手の養成・支援

【参考指標】
「どこにも助けしてくれる人がいない」「どこにも相談できる人がいない」とする子供・若者の割合

困難を有する子供・若者やその家族の支援

【参考指標】
「社会生活等を円滑に営む上での困難を改善したことがある」とする子供・若者の割合

全ての子供・若者が自らの居場所を得て、成長・活躍できる社会の実現

【測定指標】
「どこにも居場所がない」とする子供・若者の割合

研修
子供・若者育成支援に携わる者や、若者世代のリーダーとなる者への研修を実施

【インプット】
R3予算：0.7億円

研修事業の実施

【参考指標】
研修の参加者数及び参加者の満足度

子供・若者の参画促進
ウェブを通じた子供・若者からの意見募集、関係府省職員との意見交換を実施

【インプット】
R3予算：0.05億円

意見募集・意見交換の実施

【参考指標】
・意見提出件数
・意見交換会の参加者数及び参加者の満足度

創造的な未来を切り拓く子供・若者の応援

【参考指標】
「うまくいくかわからないことにも意欲的に取り組む」「社会のために役立つことをしたい」とする子供・若者の割合

※インプットの内容は令和3年度のもの

※大綱では、多様な参考指標（子供・若者インデックス）を設定し、これに基づき、子供・若者の意見も聞きつつ、総合的に評価を行うこととされている。

政策名「男女共同参画」

施策名「男女共同参画基本計画の作成・推進」

解決すべき
問題・課題

男女が、社会の対等な構成員として、自らの意思によって社会のあらゆる分野における活動に参画する機会が確保されること、その具体的課題は以下のとおり。
①政治分野において立候補や議員活動と家庭生活との両立が困難なこと、人材育成の機会の不足、候補者や政治家に対するハラスメントが存在すること等、②経済分野において女性の採用から管理職・役員へのパイプラインの構築が途上であること、③社会全体において固定的な性別役割分担意識や無意識の思い込み（アンコンシャス・バイアス）が存在していること等。

事業の概要

(アクティビティ)

活動実績

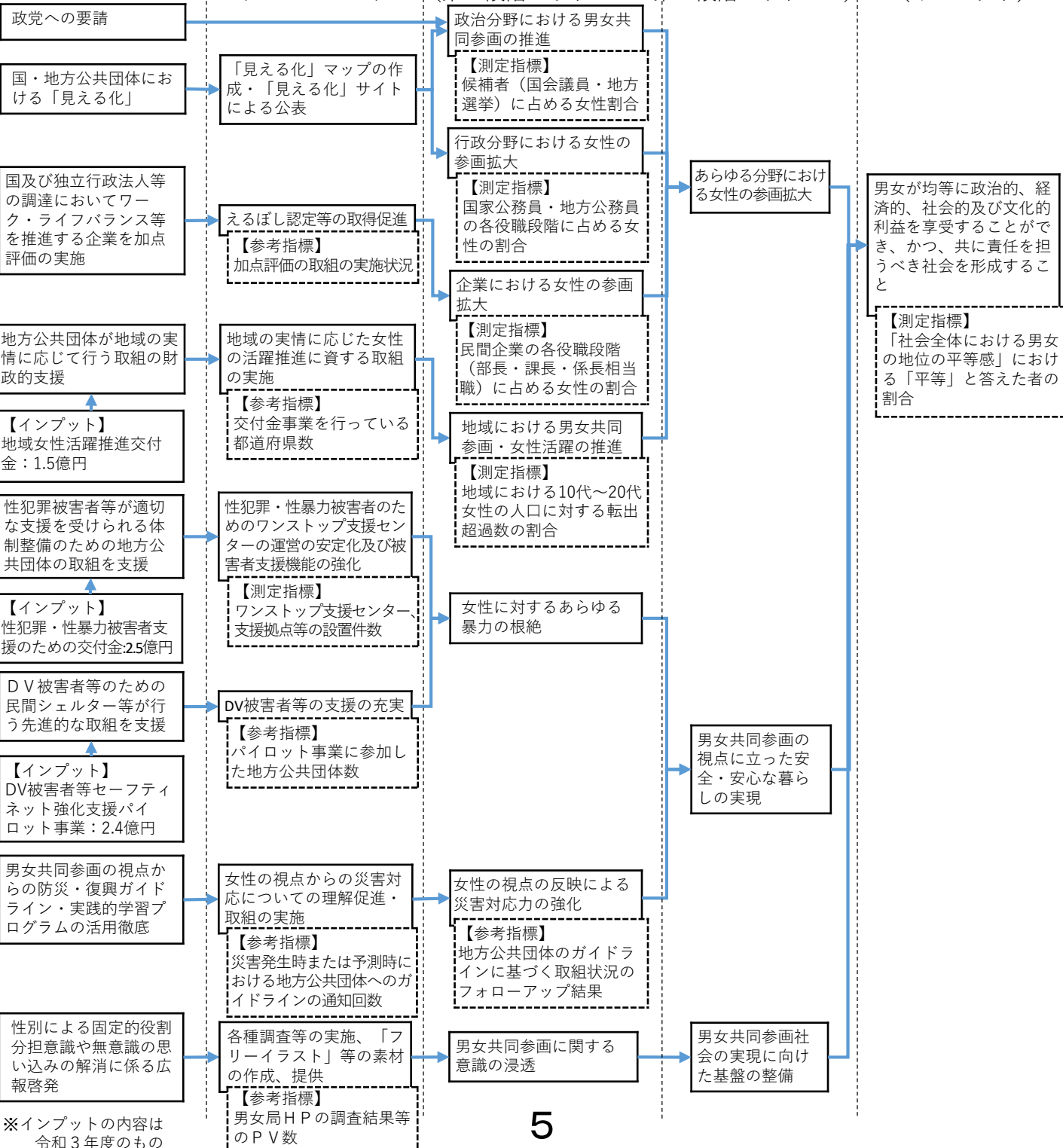
(アウトプット)

中目標

(第1段階アウトカム・第2段階アウトカム)

施策目標

(インパクト)



施策名「科学技術基本計画の策定・推進」

解決すべき
問題・課題

我が国は、地球規模課題への対応や、レジリエントで安全・安心な社会の構築などの問題をはじめ、少子高齢化問題、都市と地方問題、食料などの資源問題といった多岐にわたる社会課題を抱えている
また、脱炭素技術として原子力の最大限の活用が求められ、多様な分野への放射線利用が期待されると同時に、核拡散へのリスクに係る懸念も高まっている。
このような状況につき、科学技術・イノベーション政策や原子力政策に対し、社会や国民から高い関心が寄せられている。

事業の概要

(アクティビティ)

科学技術・イノベーション会議が、社会的に不可欠で、日本の経済・産業競争力にとって重要な課題、プログラムディレクター (PD) 及び予算をトップダウンで決定

【インプット】

戦略的イノベーション創造プログラム (SIP)
予算額：280億円

ガバナリングボードが、領域を設定し、予算の配分等に強い権限をもった領域統括の下、統合イノベーション戦略に基づく各種戦略の実現に必要な施策を、トップダウンで決定

【インプット】

官民研究開発投資拡大プログラム (PRISM)
予算額：100億円

原子力委員会の開催

原子力に関する活動に係る情報収集・分析・発信等

【インプット】

1.3億円

活動実績

(アウトプット)

課題解決に必要な技術開発等の推進
【参考指標】
課題評価WGでの社会実装に向けた評価の結果

官民における研究開発の推進
【参考指標】
PRISM審査会での評価の結果

原子力委員会における原子力利用に関する検討等の取組及びそれらの取組に関する情報の公開
【参考指標】
原子力委員会の議事録の公表件数

中目標

(アウトカム)

戦略的・国際的な知財・標準の活用が推進される、先進的な技術が社会に実装される。
【測定指標】
追跡評価WGでの評価結果

イノベーション力の強化

我が国の原子力利用に関する取組について、国内及び国際社会における理解が進む
【測定指標】
原子力委員会Webサイトのアクセス件数

施策目標

(インパクト)

我が国の社会課題の解決に向けた研究開発の推進、課題解決先進国として世界へ貢献し、一人ひとりの多様な幸せ (wellbeing) の向上

経済社会の発展及び福祉の向上

我が国の原子力利用に関する行政の民主的な運営が確保される

※ 予算は「科学技術イノベーション創造推進費」を充当。

※ インプットの内容は令和3年度のものです。